

# TAISEI

たいせいサークル

# Circle

2007年度中間期ご報告



富士山測候所 1973年竣工

気象関係者の悲願であった台風早期発見のため、過酷な作業条件を克服し、標高3,776mに設置された。標高、探知半径、送信出力といずれも当時世界一規模の気象レーダーを誇った。現在は富士山レーダードーム館（山梨県）に保存・展示されている。

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素よりご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

当上半期における国内建設投資は、昨年度に引き続き設備投資関連を中心に民間建設は堅調でしたが、歳出抑制により公共投資は減少しました。さらに官民とも競争激化に伴う価格競争が続いております。

一方、海外建設市場は東南アジア、中東産油国を中心に大規模なインフラ整備が行われています。

こうした状況のもと当社グループはグループ中期経営計画（2007～2009年度）に基づき「利益体質の強化」「戦略的受注体制の確立」「新たな収益源の確保」を課題に掲げ、2007年度は連結経常利益440億円の目標達成を目指してまいります。

最後に中間配当金は1株につき3円とさせていただきます。株主の皆様におかれましては今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## お詫び

2007年9月26日にベトナム・カントー市において、当社を代表者とする共同企業体により建設中の橋梁工事において、全長2,750mの工事区間のうち2区間(80m)の橋桁が崩落する事故が発生し、多数の犠牲者を出しました。この場をお借りしてお亡くなりになられた方々には心よりご冥福をお祈り申し上げます。またご遺族や負傷された方々には謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。さらに株主の皆様にもご心配とご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

代表取締役社長

山内隆司

## 営業の概況

日本経済は世界市場における需要拡大に伴い輸出が好調でした。そのため生産・出荷・設備投資が好循環で推移し、一時停滞した個人消費が持ち直してきたことと併せ、内外需とも底堅い状況が続きました。

国内建設投資は公共投資において厳しい状況が続く一方、民間建設投資は住宅投資が減速したものの、生産設備等における旺盛な設備投資に支えられおおむね順調でした。海外建設市場は経済成長が続く東南アジア、資金が潤沢な中東産油国を中心に投資意欲が強く、大規模なインフラ整備が行われています。

こうした状況のもと当社グループはグループ中期経営計画（2007～2009年度）に基づき「利益体質の強化」「戦略的受注体制の確立」「新たな収益源の確保」を課題に掲げ、目標達成を目指しました。

その結果、当社の当上半期の受注高は前年同期比2.6%減の7,001億円となりました。その内訳は建設事業97.9%、開発事業等2.1%です。また建設事業の内訳については、土木と建築の割合が17.0%、83.0%、官公庁、民間、海外工事の割合が7.7%、76.1%、16.2%です。

売上高は前年同期比8.8%減の5,815億円でした。その内訳は建設事業96.5%、開発事業等3.5%です。

利益については、経常利益は売上総利益の減少により前年同期比44.3%減の84億円となりました。それに伴い中間純利益は前年同期比23.8%減の57億円となりました。

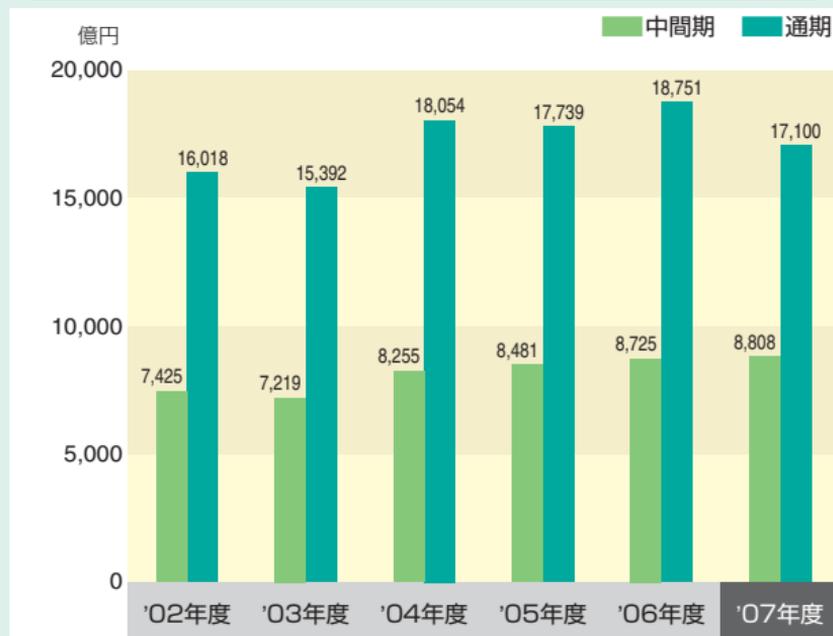
また当社グループの連結売上高は前年同期比7.9%減の7,191億円でした。連結経常利益は単体の売上総利益の減少などにより前年同期比53.0%減の78億円となりました。連結中間純利益は法人税等調整額等の好転により前年同期比67.7%増の119億円となりました。

## 業績の推移

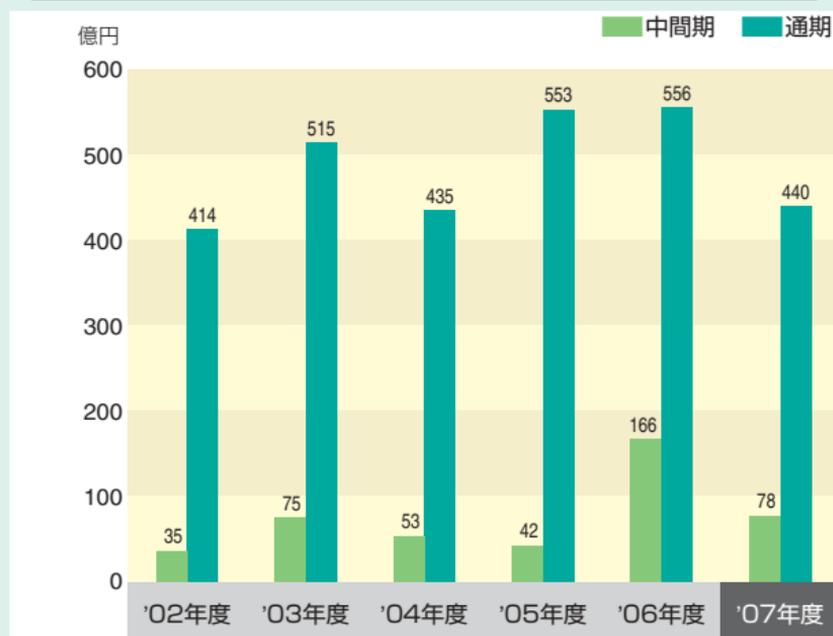
■ **連結** (連結子会社38社 持分法適用関連会社9社)

\* 2007年度通期は見直し。

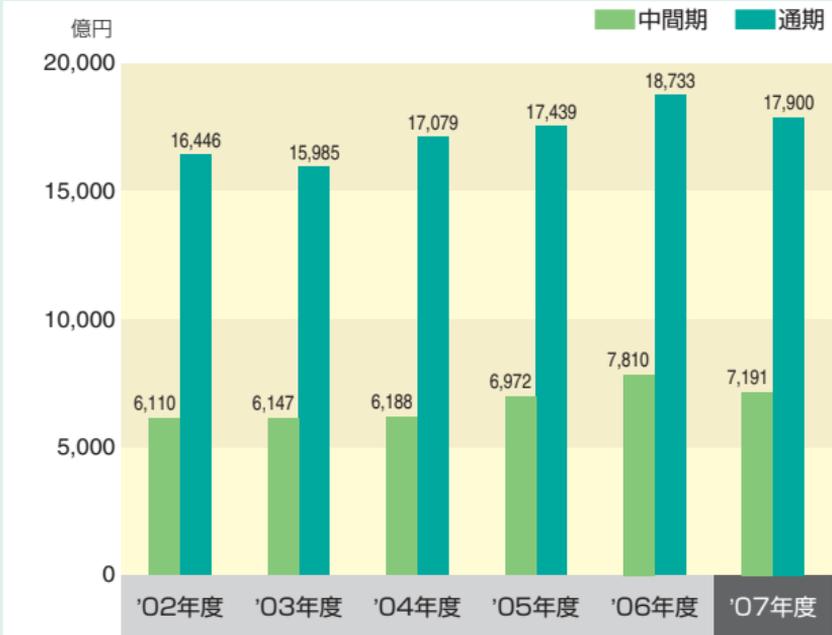
### 受注高



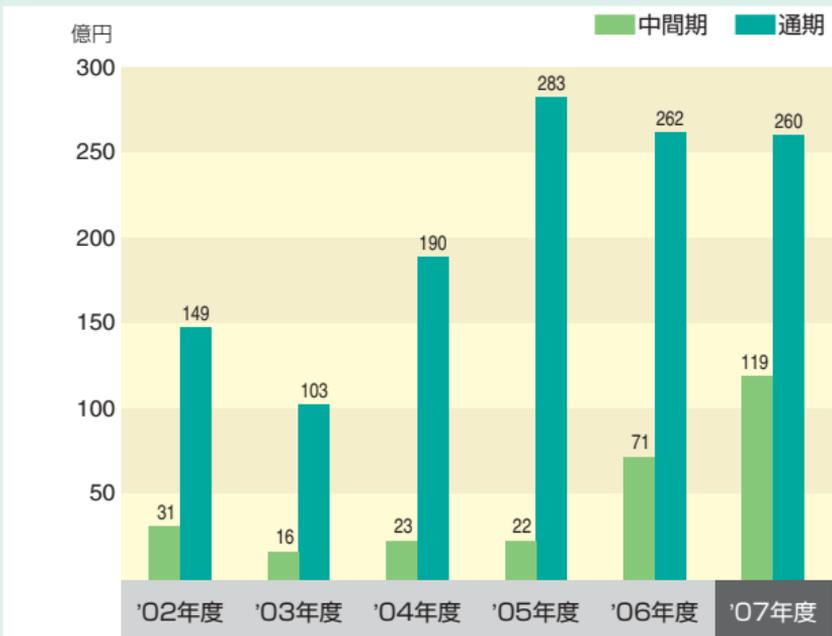
### 経常利益



## 売上高



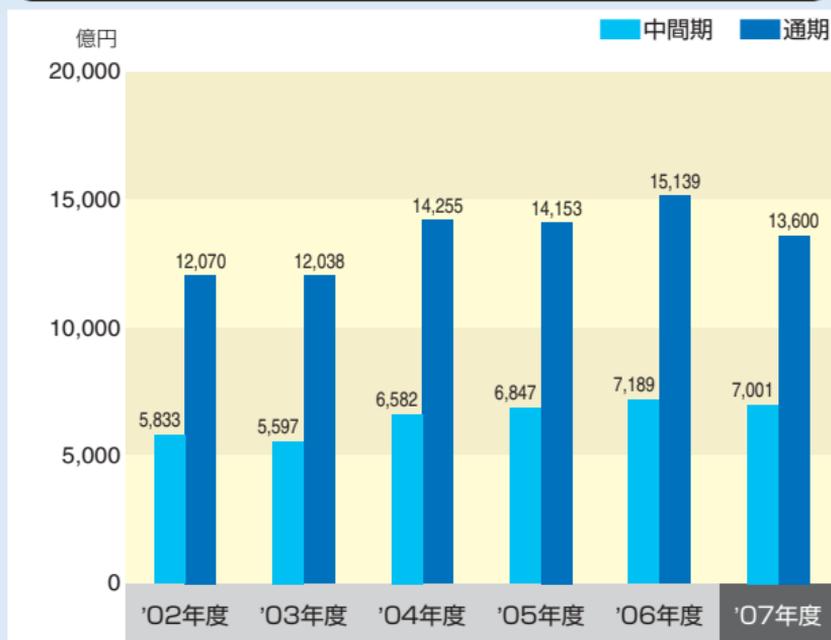
## 当期純利益



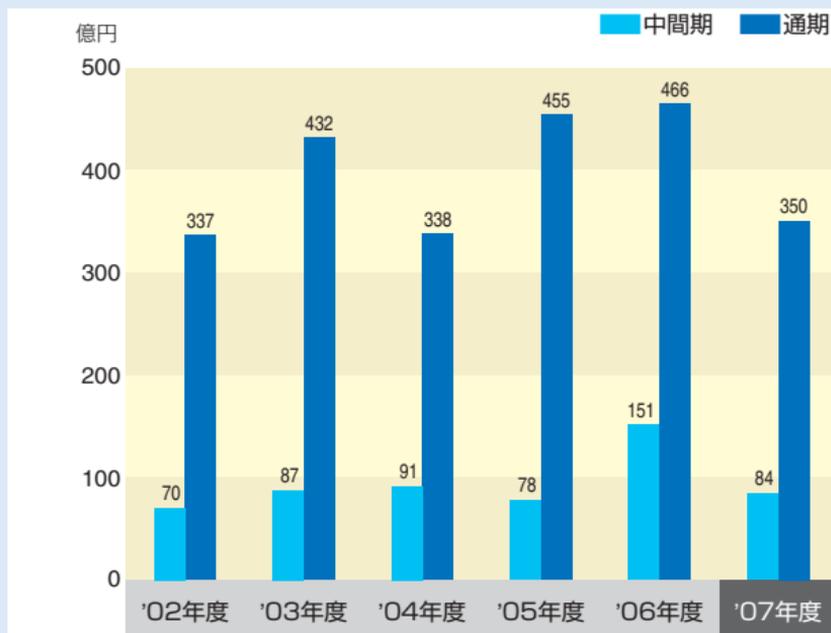
## 業績の推移

■ 単体 \*2007年度通期は見通し。

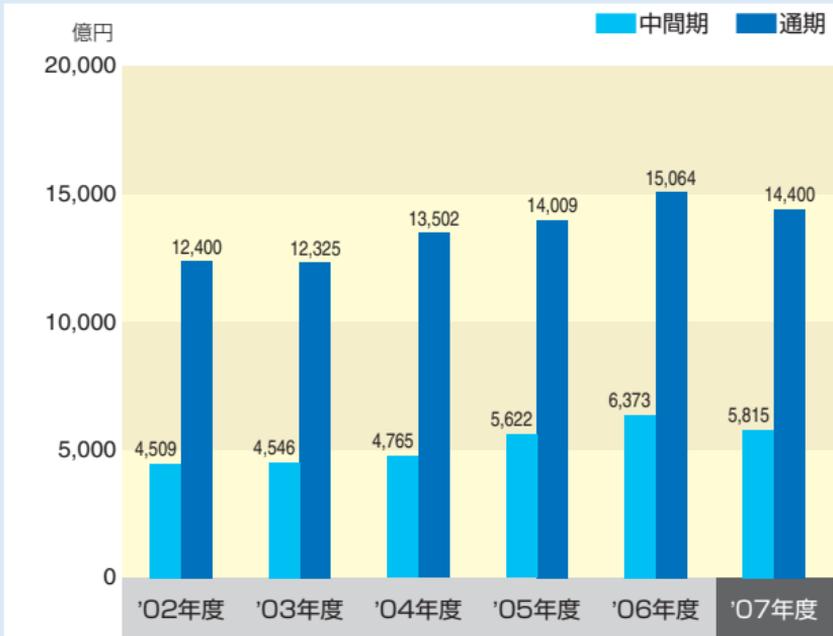
### 受注高



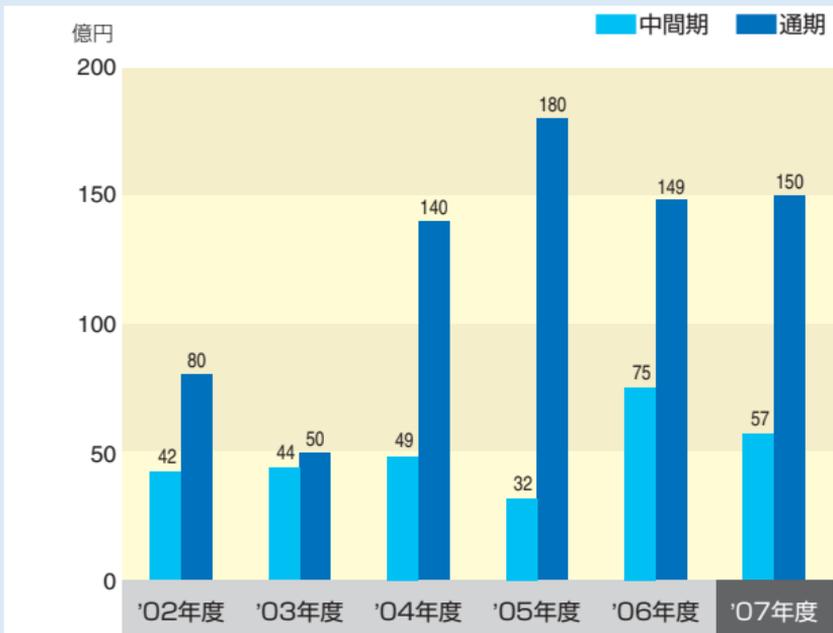
### 経常利益



## 売上高



## 当期純利益



## 2007年度中間連結決算のご報告

## ■ 中間連結貸借対照表の要旨 (2007年9月30日現在)

(単位：億円)

<b>■資産の部</b>		<b>■負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>11,127</b>	<b>流動負債</b>	<b>10,675</b>
現金預金	1,077	支払手形・工事未払金等	4,786
受取手形・完成工事未収入金等	4,323	短期借入金	1,937
未成工事支出金等	2,848	コマーシャルペーパー	399
たな卸不動産	1,605	一年以内償還の社債	100
その他	1,280	未成工事受入金	2,265
貸倒引当金	△6	預り金	780
<b>固定資産</b>	<b>7,473</b>	完成工事補償引当金	25
<b>有形固定資産</b>	<b>2,646</b>	工事損失引当金	61
建物・構築物	851	その他	319
土地	1,652	<b>固定負債</b>	<b>3,848</b>
その他	142	社債	700
<b>無形固定資産</b>	<b>110</b>	長期借入金	2,124
<b>投資その他の資産</b>	<b>4,715</b>	退職給付引当金	262
投資有価証券	3,770	役員退職慰労引当金	7
その他	1,012	関係会社投資等損失引当金	13
貸倒引当金	△67	環境対策引当金	4
		その他	736
		<b>負債合計</b>	<b>14,524</b>
		<b>■純資産の部</b>	
		<b>株主資本</b>	<b>2,738</b>
		資本金	1,124
		資本剰余金	794
		利益剰余金	820
		自己株式	△1
		評価・換算差額等	1,010
		その他有価証券評価差額金	1,021
		繰延ヘッジ損益	3
		土地再評価差額金	△9
		為替換算調整勘定	△5
		少数株主持分	328
		<b>純資産合計</b>	<b>4,076</b>
<b>資産合計</b>	<b>18,600</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>18,600</b>

■ 中間連結損益計算書の要旨 (2007年4月1日から2007年9月30日まで)  
(単位：億円)

売上高	7,191
完成工事高	6,364
開発事業等売上高	826
売上原価	6,635
完成工事原価	6,008
開発事業等売上原価	626
<b>売上総利益</b>	<b>555</b>
完成工事総利益	356
開発事業等売上総利益	199
販売費及び一般管理費	453
<b>営業利益</b>	<b>101</b>
営業外収益	30
受取利息配当金	26
その他	3
営業外費用	54
支払利息	40
その他	13
<b>経常利益</b>	<b>78</b>
特別利益	72
前期損益修正益	30
その他	41
特別損失	26
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>124</b>
法人税、住民税及び事業税	47
法人税等調整額	△49
少数株主利益	7
<b>中間純利益</b>	<b>119</b>

## 2007年度中間決算のご報告

### ■ 中間貸借対照表の要旨 (2007年9月30日現在)

(単位：億円)

<b>■資産の部</b>		<b>■負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>9,011</b>	<b>流動負債</b>	<b>9,181</b>
現金預金	760	支払手形	311
受取手形	104	工事未払金	3,856
完成工事未収入金	3,701	短期借入金	1,367
販売用不動産	601	コマーシャルペーパー	399
未成工事支出金	2,454	一年以内償還の社債	100
開発事業等支出金	202	未払法人税等	26
その他	1,191	未成工事受入金	2,006
貸倒引当金	△2	預り金	842
<b>固定資産</b>	<b>6,337</b>	完成工事補償引当金	18
<b>有形固定資産</b>	<b>1,176</b>	工事損失引当金	56
土地	778	その他	194
その他	398	<b>固定負債</b>	<b>2,588</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>76</b>	社債	700
<b>投資その他の資産</b>	<b>5,085</b>	長期借入金	1,357
投資有価証券	3,542	退職給付引当金	109
関係会社株式・関係会社出資金	564	関係会社投資等損失引当金	60
その他	1,268	環境対策引当金	3
貸倒引当金	△290	その他	356
		<b>負債合計</b>	<b>11,769</b>
		<b>■純資産の部</b>	
		<b>株主資本</b>	<b>2,588</b>
		<b>資本金</b>	<b>1,124</b>
		<b>資本剰余金</b>	<b>794</b>
		資本準備金	417
		その他資本剰余金	376
		<b>利益剰余金</b>	<b>671</b>
		その他利益剰余金	671
		固定資産圧縮積立金	29
		別途積立金	515
		繰越利益剰余金	126
		<b>自己株式</b>	<b>△1</b>
		<b>評価・換算差額等</b>	<b>991</b>
		その他有価証券評価差額金	987
		繰延ヘッジ損益	4
		<b>純資産合計</b>	<b>3,579</b>
<b>資産合計</b>	<b>15,349</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>15,349</b>

■ **中間損益計算書の要旨** (2007年4月1日から2007年9月30日まで)  
(単位：億円)

<b>売上高</b>	<b>5,815</b>
完成工事高	5,611
開発事業等売上高	203
売上原価	5,479
完成工事原価	5,341
開発事業等売上原価	137
<b>売上総利益</b>	<b>335</b>
完成工事総利益	269
開発事業等売上総利益	66
販売費及び一般管理費	273
<b>営業利益</b>	<b>62</b>
営業外収益	63
受取利息配当金	62
その他	1
営業外費用	41
支払利息	29
その他	12
<b>経常利益</b>	<b>84</b>
特別利益	46
前期損益修正益	26
投資有価証券売却益	20
特別損失	39
関連事業損失	27
その他	12
<b>税引前中間純利益</b>	<b>92</b>
法人税、住民税及び事業税	28
法人税等調整額	5
<b>中間純利益</b>	<b>57</b>

## 世界最高水準の 超高強度コンクリートを実現！ 最先端のRC技術「T-RC<sup>+</sup>」

大成建設は、超高層RC（鉄筋コンクリート）技術のパイオニアとして、先進コンクリート技術「T-RC<sup>+</sup>（TAISEI-

大成建設の先進コンクリート技術

**T-RC<sup>+</sup>**  
TAISEI-Reinforced Concrete Plus

Reinforced Concrete Plus)」の開発・適用を推進しています。その一環として、世界最高強度レベルの超高強度コンクリート「150N/mm<sup>2</sup>コンクリート」の適用を実現しています。これは、1cm四方のコンクリートに約1.5tの重さがかかっても壊れない強度（通常のコンクリートの6倍程度）です。

2000年以降、都心部を中心に超高層マンションが加速的に増加、それに伴い建物の長寿命化や耐震性の向上だけでなく、将来へ向けたフレキシブルなレイアウト、さらに住空間に対する好みの多様化に対応した自由度の高い設計ニーズが高まってきました。超高強度コンクリートは、超高層マンションの柱に適用することで強固かつ高い居住性を実現、柱の本数の低減により広い空間を確保できることから、需要が増大しています。

超高強度コンクリートの開発ポイントは、大成建設が（株）デイ・シイと共同開発・実用化した高強度用セメントに加え特殊な混和剤の使用により、施工性の向上及びひび割れの抑制を実現している点にあります。また、火災時の安全性を確保するために繊維を混ぜ込むことで、耐火性にも優れたものとなっています。さらに、独自に開発した品質管理技術により、極めて安定した品質の超高強度コンクリートの供給を実現しています。

また、大成建設では、こうした超高強度コンクリートの柱部材などを工場で製造し、工事現場で接合することにより、工期短縮などが図れるPCa（プレキャスト）工法を推進しています。自社PCa工場（千葉県成田市）では、超高



赤坂四丁目薬研坂南地区第一種市街地再開発事業 完成予想図

強度コンクリートを用いた部材製造における一貫した品質管理体制を構築し、第三者機関である(財)日本建築総合試験所の生産技術証明を取得しています。

これらの技術の実績例としては、「150N/mm<sup>2</sup>コンクリート」を使用したPCa柱部材を国内で初めて適用した、現在、東京都港区にて施工中の「赤坂四丁目薬研坂南地区第一種市街地再開発事業」があげられます。

また、超高強度コンクリートについては、さらなる強度のレベルアップが進んでおり、年内に着工される都内超高層マンションにおいて、「160N/mm<sup>2</sup>コンクリート」を使用したPCa柱部材が初適用される予定です。

「T-RC<sup>+</sup>」の開発では、超高強度コンクリートのみならず、高性能架構技術など、さまざまな顧客ニーズに応じていくための最先端の技術開発が進められています。大成建設では、今後もコンクリートという素材への探究とともに、総合的かつ高品質の建築物を提供していきます。

## 都市環境改善技術への評価

### 「屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」にて 3年連続受賞

大成建設では、「人と自然の関係を大切にする」という経営姿勢のもと、環境方針にのっとる行動指針として、「環境に関する技術開発を積極的に推進し、その応用展開を図る」ことを掲げています。環境保全是、建設業に課せられた役割であり、大成建設は、高度な技術で環境リスクや環境負荷の低減を実践し、社会的責任を果たしていきます。

特に近年は、都市部の気温が周辺部より高くなる「ヒートアイランド現象」の加速などから、これを抑制するため都市緑化の社会的ニーズが高まっています。大成建設でも、エコロジー本部環境計画・アセスメントグループを中心に、設計・施工における都市緑化の最新技術の導入に注力し、多くの実績を上げています。

2004年9月には（財）都市緑化技術開発機構が主催する第3回「屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」において「日本工業倶楽部会館・三菱信託銀行（現：三菱UFJ信託銀行）本店ビル」（東京都千代田区）が特別賞を受賞しました。

また、2004年4月に完成した東京都千代田区のオフィ



都心の緑の丘をコンセプトとした「二番町ガーデン」

スビル「二番町ガーデン」は、同コンクールの第4回（2005年10月）において、『壁面・特殊緑化大賞：国土交通大臣賞』を受賞しました。

「都心の緑の丘」をコンセプトとした「二番町ガーデン」は、2階から6階までの各階北西面の壁面が帯状に緑化され、屋上には緑豊かな庭園が広がっています。周辺環境との調和はもちろん、西日などによる近隣への熱輻射緩和に配慮した点や、事前養生を施した『ユニット式壁面緑化システム』の採用により、竣工時点で80%以上の緑被率を確保した点などが高く評価され、受賞に至ったものです。

同コンクールの第5回（2006年10月）においては、2005年2月に完成した「下北沢成徳高等学校」（東京都世田谷区）の「既存傾斜屋根



奈良の若草山を連想させる「下北沢成徳高等学校」

根面を利用した斜面緑化」が、『壁面・特殊緑化大賞：環境大臣賞』を受賞し、2年連続で大臣表彰を受けました。

当施設では、都心部の学校における良好な教育環境実現のために、既存校舎の屋根上にフレームを架け、伸びやかで広がり感のある斜面緑化を実現しました。これによって、校舎からの景観の向上とともに、窓から入る日射照り返しの抑制など環境負荷低減にも貢献しています。今回の受賞は、限られた敷地の中を効果的に空間演出した「設計力」と、最大55度にもなる施工困難な傾斜面を緑化した「工法・技術力」が評価されたものです。

これらの実績で培われた緑化技術は、今後の都市緑化の多くのケースに応用可能です。大成建設は、これからも多様化するお客さまのニーズに応える技術力を高めてまいります。

# UNDER CONSTRUCTION

## 主な施工中工事のご紹介



代々木ゼミナール代々木2丁目  
プロジェクト新築工事  
(渋谷区代々木)



(仮称)モリモト横濱  
ポートサイドビル新築工事  
(神奈川県横浜市)



中央雨水ポンプ場建設工事  
(千葉県千葉市)



13号線新宿七丁目  
二工区土木工事  
(東京都新宿区)



カタール  
新ドーハ国際空港旅客ターミナル  
複合施設新築工事  
(カタール国ドーハ市)

## CONTRACTS RECEIVED

### 主な受注工事のご紹介

物件名	所在地	発注者
二子玉川東地区第一種市街地再開発事業に係る施設建築物新築工事(3街区)	東京都	二子玉川東地区市街地再開発組合
アラブ首長国連邦ドバイ・ダウタウン・ジュベールアリ・プロジェクト	アラブ首長国連邦	リミットレス社
(仮称)みなとみらいODKビル新築工事	神奈川県	オーディーケー特定目的会社
台湾湖山ダム本体建設工事	台湾	台湾政府 經濟部水利署・中区水資源局
東京外環自動車道 京葉工事	東京都	東日本高速道路(株)

## CONSTRUCTION COMPLETED

### 主な完成工事のご紹介

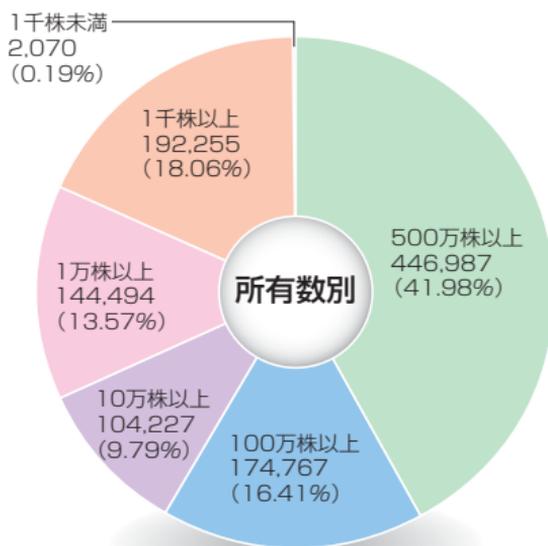
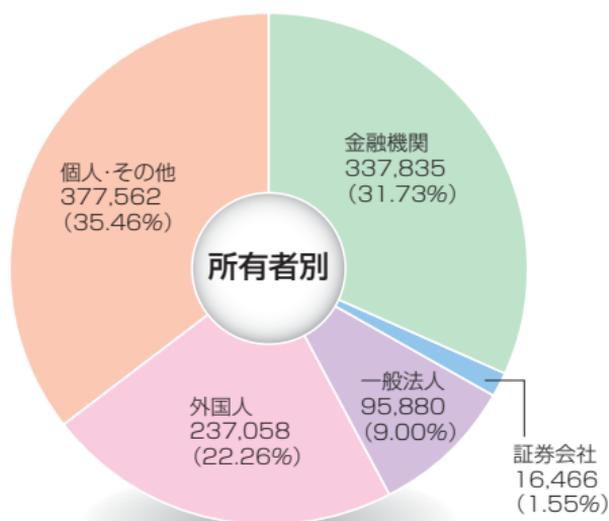
物件名	所在地	発注者
(仮称)ザ・ペニンシュラ東京新築工事	東京都	三菱地所(株)・ (株)ペニンシュラ東京
三重工場300mm第二棟建築工事	三重県	富士通(株)
千葉中央第六地区第一種市街地再開発事業	千葉県	千葉中央第六地区市街地再開発組合
鴻巣駅東口A地区第一種市街地再開発事業施設建築物(A1街区)新築工事	埼玉県	鴻巣駅東口A地区市街地再開発組合
秋田中央道路整備工事(SA20-10)	秋田県	秋田県

## 株式の状況 (2007年9月30日現在)

### ●株式の異動

発行可能株式総数	2,200,000,000株
発行済株式の総数	1,064,802,821株
当中間期末株主数	105,063名

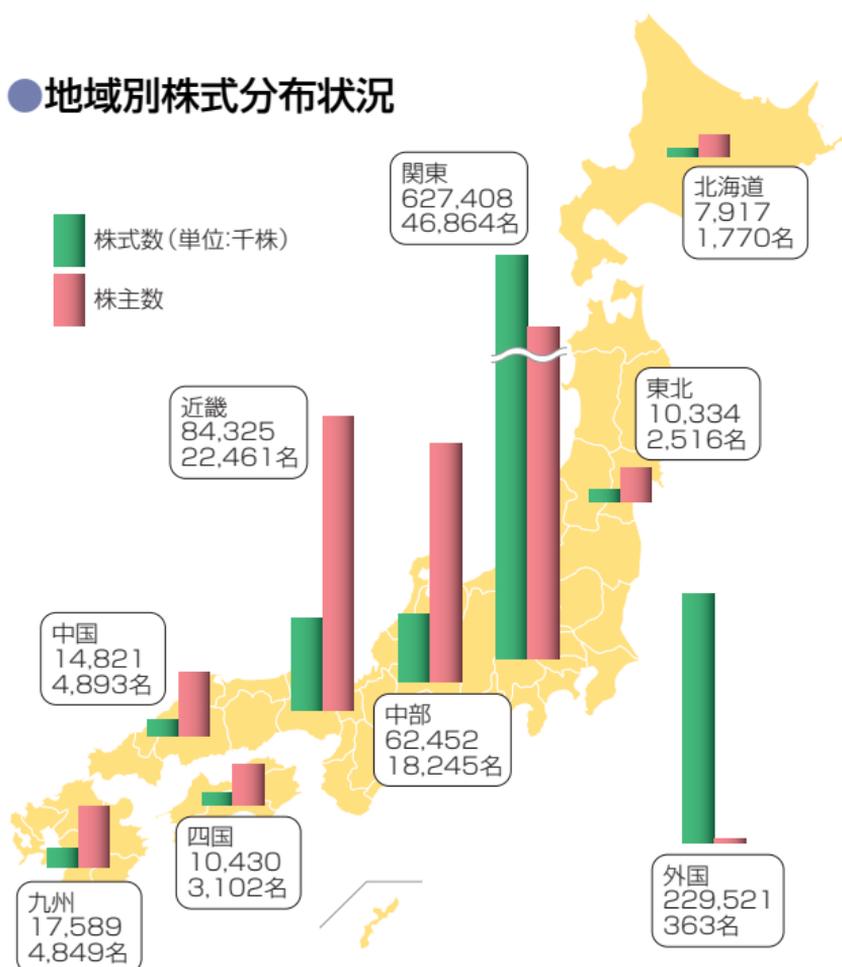
### ●株式分布状況 (単位：千株)



● 株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	59,011	5.54
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	55,589	5.22
大成建設社員持株会	26,591	2.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	24,114	2.26
みずほ信託退職給付信託 みずほコーポレート銀行口	23,180	2.18
大成建設取引先持株会	19,712	1.85
三菱地所株式会社	17,604	1.65
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナル・ピー・エル・シー	16,427	1.54
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口	16,108	1.51
明治安田生命保険相互会社	15,741	1.48

● 地域別株式分布状況



## 会社の概要 (2007年9月30日現在)

### ●商号

大成建設株式会社  
(英文名 TAISEI CORPORATION)

### ●設立年月日

1917年(大正6年)12月28日

### ●資本金

112,448,298,842円

### ●本店

東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 新宿センタービル  
電話 03(3348)1111

### ●従業員数(就業人員)

9,089名

### ●支店

東京支店(東京都新宿区)	横浜支店(横浜市)
関西支店(大阪市)	北信越支店(新潟市)
名古屋支店(名古屋市)	四国支店(高松市)
九州支店(福岡市)	千葉支店(千葉市)
札幌支店(札幌市)	関東支店(さいたま市)
東北支店(仙台市)	神戸支店(神戸市)
広島支店(広島市)	京都支店(京都市)

### ●事業本部

住宅事業本部  
国際事業本部(国際建築支店・国際土木支店)

### ●技術センター

(横浜市)

### ●国内営業所等 (2007年10月1日現在)

59か所

### ●海外営業所等

ソウル営業所	インド営業所(ニューデリー)
台北営業所	中東支店(アブダビ、ドーハ、ドバイ)
フィリピン営業所(マニラ)	北アフリカ営業所(リビア)
ミャンマー営業所(ヤンゴン)	ヨーロッパ営業所(フランクフルト)
クアラルンプール営業所	アメリカ営業所(カリフォルニア)
ジャカルタ営業所	ペルー営業所(リマ)

● **役員** (2007年11月1日現在)

■ **取締役**

代表取締役会長	葉山莞児
代表取締役社長	山内隆司
代表取締役	鶴田宣彦
代表取締役	岡本 敦
取締役	園田邦之
取締役	南部邦彦
取締役	増田光男
取締役	可児才介
取締役	小林将志
取締役	五木田通夫
取締役	市原博文
取締役	阿久根操
取締役	関谷哲夫
取締役	山本恵朗

\*関谷哲夫及び山本恵朗は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

■ **監査役**

常任監査役(常勤)	田丸 浩
常任監査役(常勤)	詫間博康
監査役	岡村 甫
監査役	中島孝夫
監査役	上野治男

\*岡村甫、中島孝夫及び上野治男は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

■ **執行役員**

社長	山内隆司
副社長	鶴田宣彦
副社長	園田邦之
副社長	岡本 敦
専務役員	南部邦彦
専務役員	増田光男
専務役員	高橋大輔
専務役員	寺下 均
専務役員	小倉勝彦
専務役員	可児才介
専務役員	小林将志
専務役員	五木田通夫
専務役員	駒井勇夫
専務役員	鎌田 勝
専務役員	前田 誠
専務役員	山田潤二
専務役員	河村壮一
専務役員	市原博文
専務役員	窪添貴治
専務役員	荒井康博
専務役員	久保博司
専務役員	茂手木信行
専務役員	多田博是
専務役員	阿久根操
専務役員	吉田達夫
専務役員	古厩 孝

常務役員	尾形 悟
常務役員	井出光康
執行役員	中村賢二
執行役員	中山靖之
執行役員	瀬川昌彌
執行役員	近江秀味
執行役員	小菅 誠
執行役員	関根 繁
執行役員	小野沢潔
執行役員	藤原基文
執行役員	吉田 明
執行役員	小島章伸
執行役員	富永敏男
執行役員	岸本孝夫
執行役員	林 隆
執行役員	谷内正建
執行役員	仙頭靖夫
執行役員	大塚史久
執行役員	中道隆史
執行役員	野呂一幸
執行役員	清水宣治
執行役員	小沢純一
執行役員	村上隆得
執行役員	八田英治
執行役員	台 和彦
執行役員	小泉 徹

## 大成グループ

### グループビジョン

建設事業を中核として、  
技術とノウハウにより豊かな価値を創造し提供することを通じて、  
広く社会に貢献していきます。

#### 【主なグループ会社】

建設事業	<b>大成ロテック(株)</b> 〒104-8383 東京都中央区京橋3-13-1 有楽ビル Tel 03-3567-9431 (代表)	道路舗装工事、その他土木工事、舗装用アスファルト合材の製造・販売等  東証1部上場
	<b>大成ユーレック(株)</b> 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-23-1 第3TOCビル Tel 03-3493-4941 (代表)	集合住宅の企画・設計・施工、リニューアル工事の企画・設計・施工、コンクリート部材の供給
	<b>大成設備(株)</b> 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-9-2 フジ・エステイト新宿第1ビル Tel 03-5308-7611 (代表)	空調・衛生・電気他設備工事業
	<b>大成建設ハウジング(株)</b> 〒163-1019 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー Tel 03-5339-8026 (経営管理部)	コンクリート住宅「パルコン」、ツーバイフォー住宅「空間王」の設計・施工・販売
	<b>成和リニューアルワークス(株)</b> 〒163-0610 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル Tel 03-5326-0710 (代表)	建設・産業機械の製作・販売、土木建築の基礎工事等
開発事業	<b>有楽土地(株)</b> 〒104-8330 東京都中央区京橋3-13-1 有楽ビル Tel 03-3567-9411 (代表)	不動産の分譲・賃貸・斡旋・鑑定・コンサルティング、保険代理業  東証2部上場
その他の事業	<b>大成サービス(株)</b> 〒104-8332 東京都中央区京橋3-12-2 京橋第2有楽ビル Tel 03-3567-9231 (代表)	ビル・マンション等の管理、警備等
海外事業	<b>大成コンストラクション</b> 米国・カリフォルニア州	米国における建設工事全般

# コンクリート住宅に 暮らそう。

素材そのものの美しさを  
楽しみ、大切にする。

そんな日本人の伝統的な感性に

とてもよくマッチする住宅があります。

鉄筋コンクリート住宅「バルコン」。

強くて、美しく、気分のいい家に

暮らませんか。

コンクリート住宅、

という選択。

大成建設のバルコン。



スーパーゼネコンがつくる  
**大成建設の家**



狭い土地に、夢を建てる。

**Palcon**  
Switch

大成建設株式会社 住宅事業本部  
大成建設ハウジング株式会社

お問い合わせ先

 **0120-197-406**

<http://www.homestyle.taisei.co.jp/>

## 株主メモ

- 1 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 2 定時株主総会** 6月中
- 3 基準日** 定時株主総会の議決権 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日
- 4 上場証券取引所** 東京・大阪・名古屋
- 5 株主名簿管理人** みずほ信託銀行株式会社  
**同事務取扱所** 〒135-8722  
**（郵便物送付先）** 東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
**及びお問合せ）** みずほ信託銀行株式会社証券代行部  
電話 0120(288)324（フリーダイヤル）
- 同取次所** みずほ信託銀行株式会社全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社本店及び  
全国各支店
- 手数料** ①名義書換：無料  
②株券再発行：株券1枚につき210円（消費税額  
等を含む）但し、併合及び満欄の場合は無料  
③単元未満株式の買取・買増：株式の売買の委託  
に係る手数料相当額として別途定める金額及び  
これに係る消費税額等の合計額  
④株券喪失登録：請求1件につき10,500円（消  
費税額等を含む）、喪失登録する株券1枚につき  
525円（消費税額等を含む）
- 6 公告の方法** 電子公告  
公告掲載URL(<http://www.taisei.co.jp/>)  
但し、事故その他やむを得ない事由により電子公  
告をすることができない場合は、東京都において  
発行する日本経済新聞に掲載します。

### 【お知らせ】

●配当金のお支払いについて

配当金のお支払期限は定款の定めにより支払開始日から3年となっております。下記の配当金につきましては、お支払期限が迫っておりますので再度ご確認をお願いします。

（お支払期限）

・145期利益配当金：2008年6月30日・146期中間配当金：2008年12月8日

※振込方式による配当金の受領にご変更の場合は、同封の『配当金振込指定書』の裏面をご覧ください。



地図に残る仕事。

# 大成建設株式会社

〒163-0606 東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 電話03(3348)1111

<http://www.taisei.co.jp/>